

糸島市九州大学連携研究助成金研究一覧

NO	年度	番号	研究課題名	研究者名	研究者所属	研究者職名	研究概要	事業化・実用化
1	22	1	糸島産の原料を使ったラーメンの開発に関する調査研究	下田 満哉	農学研究院	教授	地域特産品の開発を目的とし、ラー麦を原材料とする糸島産ラーメンの創出に関する研究を行う。	○
2	22	2	GISによる雷山川および瑞梅寺川流域の動的洪水ハザードマップと最適避難ルートマップの作成	池見 洋明	工学研究院	助教	GISを活用し、雷山川及び瑞梅寺川流域を対象に、洪水の時間変化から住民が安全に避難できる洪水時最適避難ルートマップを作成する。	○
3	22	3	農産物規格外品等の再生利用と循環型社会システムの先導的地域モデル	中司 敬	農学研究院	教授	野菜加工の廃棄物や学校等の食品残渣を対象に高価値の飼料を作り出し、地域の廃棄物の有価物化、飼料国内自給率向上、飼料の安全・安心・安定供給のモデル化研究を行う。	
4	22	4	瑞梅寺川以東における避難所の適地選定のための意思決定支援	三谷 泰浩	工学研究院	准教授	瑞梅寺川以東において適切な公的避難所がないことから、この地域の住民が洪水発生時に避難できる適地の選定を行い、当該地域の洪水災害への脆弱性の軽減を目指す。	○
5	22	5	糸島地域における情報化農業推進のためのIT基盤システムの開発	岡安 崇史	農学研究院	准教授	糸島地域に適したIT基盤システムの開発とその利活用に関する実証試験を展開する。	
6	22	6	糸島市における森林資源の保全と循環的な利活用に向けた政策課題の抽出	佐藤 宣子	農学研究院	教授	住民参画による森林保全と田園都市型の森林資源利活用の具体像を示しつつような森林・林業政策の課題の抽出を行う。	
7	23	1	糸島市における森林バイオマスのエネルギー活用とCO ₂ 排出削減量のクレジット化に関する研究	佐藤 宣子	農学研究院	教授	森林資源の有効活用のため、チップボイラーの導入を想定し、資源の賦存量と環境保全面を考慮したエネルギー利用可能材積の推定などを調査研究する。	
8	23	2	糸島市サイン計画に対する地域の目印情報に関する研究	佐伯 謙吾	芸術工学研究院	助教	景色の中から観光地等の案内誘導につながる独自の景観要素を顕在化させ、都市サイン整備における案内誘導要素の一因として検討し、市独自のサインシステムの導出を目指す。	○
9	23	3	白糸の滝への小水力発電の導入に関する調査・研究	島谷 幸宏	工学研究院	教授	小水力発電施設の設定実現に向け、水車の構造、発電した電力の利用等、地域住民と調整しながら九大生が発電施設を試作するなど、地域住民と学生の協働による研究を行う。	○
10	23	4	糸島半島における高密度重力探査を用いた基盤・断層構造の推定	西島 潤	工学研究院	助教	高密度（数10m程度）に測定点を配置した重力探査を行うことにより、1898年に志摩で地震を引き起こした断層及び伏在している断層の検出を行う。	

糸島市九州大学連携研究助成金研究一覧

NO	年度	番号	研究課題名	研究者名	研究者所属	研究者職名	研究概要	事業化・実用化
11	23	5	糸島地域のサスティナブル・ハビタット構築に関する実証的研究	坂井 猛	新キャンパス計画推進室	教授	市内の老朽化したアパートや空き家を対象として、環境に負荷が少なく、かつ学生のライフスタイルやコスト等のニーズに適合する居住環境を実現するための手法を検討する。	○
12	23	6	糸島天然素材（農林・海産物）のライブラリー化と有用機能探査	清水 邦義	農学研究院	助教	糸島産の天然素材（農林・海産物）が持つ健康増進作用などの付加価値を科学的に検証する。	○
13	23	7	養豚糞尿の液肥利用のための湿式高温好気発酵過程の解明と社会技術の開発	矢部 光保	農学研究院	教授	県内最大の畜産地帯である糸島市において、高額な処理費用に苦しむ畜産廃棄物問題の解決方法を探るため、以下の研究を行う。	
14	23	8	イチゴの高収益安定生産を目指した条間配風ダクトによる適温管理とCO ₂ 施用	北野 雅治	農学研究院	教授	地下1m程度に存在する地温不易層からの配管によりハウス内のイチゴ株付近を常時適温にするシステムを設置（九大内等）した上で、必要に応じてCO ₂ ガスを付加し光合成等を促進させる方法を研究する。	
15	23	9	糸島産イノシシ肉の有用性評価による農村集落活性化	丸居 篤	農学研究院	助教	糸島産イノシシ肉の機能性・肉質を評価し、高品質食肉への独自の加工方法を検討する。	○
16	23	10	糸島市における絵本カーニバルの研究と実践	目黒 実	統合新領域学府	特任教授	絵本というメディアを活用し、糸島市における大人と子どもの関係と両者の心地良い絵本ある居場所を構築していくため、絵本カーニバルの実践活動を通じその方策を研究する。	
17	24	1	糸島市の海岸マツ林の保全とヤブツバキを用いた代替林の育成	玉泉幸一郎	農学研究院	准教授	糸島市の海岸線には多くのマツ林が点在しているが、マツ材線虫病による被害が発生しているため、マツ林保全を目的とした研究を行う。	
18	24	2	糸島市の健康寿命と健康行動（社会生活）の実態に関する調査研究	熊谷 秋三	健康科学センター	教授	糸島市の健康寿命の算定を行うため、地区ごとの生活実態を明らかにし比較することで、地域の特性に応じた施策実施のための基礎データを得ることを目的とする。	
19	24	3	糸島半島における高密度重力探査を用いた基盤・断層構造の推定	西島 潤	工学研究院	助教	高密度に測定点を配置した重力探査を行うことにより、1898年に直下型地震を引き起こした断層及び伏在している断層の検出を行う。	○
20	24	4	糸島農林水産物の高付加価値化を目指した有用機能探査	清水 邦義	農学研究院	助教	糸島産の天然素材が持つ健康増進作用を科学的に解明することにより、付加価値を見だし、市場競争力を高める。	

糸島市九州大学連携研究助成金研究一覧

NO	年度	番号	研究課題名	研究者名	研究者所属	研究者職名	研究概要	事業化・実用化
21	24	5	「いとゴン」オンリーワン戦略による糸島市民の活力向上に関する研究	清須美匡洋	芸術工学研究院	教授	糸島市イメージキャラクター「いとゴン」を活用し、地域の活性化や活力向上を高めるための方策を探るとともに具体的な活用方法を研究する。	○
22	24	6	糸島産エコフィード豚の地域ブランド開発（食味試験から展開）	中司 敬	農学研究院	特命教授	資源循環型社会の食を理念とした糸島産エコフィード豚を活用し、個別ブランド品の開発、さらに地域ブランド開発を目的とする。	
23	24	7	糸島地域の学生居住促進に向けた低炭素移動システムの構築	坂井 猛	新キャンパス計画推進室	教授	学生の通学手段としての自転車やバイクの代替として低炭素社会に貢献する移動システムの構築を目的とするとともに、糸島市への学生居住促進に関する考察を行う。	○
24	25	1	地域情報の効果的な収集と配信を支援するスマートフォンサービスの展開	松田 修	理学研究院	助教	「いつ・どこで・何を」見つけたか記録し、ユーザー間での情報共有を可能とするサーバー連動型アプリ「ここピン!」を介した情報活動のためのコンテンツ作成、地域情報の収集と配信における利便性を向上させるためのシステム改良を行う。観光情報の収集と配信	○
25	25	2	定住人口増加策の研究	谷口 博文	産学連携センター	教授	定住人口策に関する調査研究 定住人口増加に繋がる交通利便性の向上策に関する調査・研究	
26	25	3	酵素溶液による竹粉資材の新堆肥化技術の解析	金澤 晋二郎	農学研究院	特任教授	野菜類の品質と収量の向上が顕著な、酵素液と竹粉による新堆肥化技術について、生化学及び微生物学の観点から解明する。	
27	25	4	糸島産アマナツの長期貯蔵技術の開発	内野 敏剛	農学研究院	教授	糸島産アマナツ果実の長期貯蔵技術の開発を目的とし、フィルム包装と赤外線・紫外線殺菌法を併用した貯蔵技術の実用性を検討する。	
28	25	5	飼料用イネを対象とした畜産たい肥施用支援システムの開発	平井 康丸	農学研究院	准教授	畜産たい肥の施用支援システムの開発を行い、環境保全型及び低コストの飼料用イネ生産技術確立を目指す。	
29	25	6	糸島農林水産物の高付加価値化を目指した有用機能探索	清水 邦義	農学研究院	助教	糸島天然素材（農林・海産物）を収集し、抽出物を調製しライブラリー化するとともに、有用機能の探索を行い、付加価値の創出を目指す。	
30	26	1	糸島産薬用植物の機能評価と栽培研究	田中 宏幸	薬学研究院	准教授	糸島地域の薬用作物栽培の活性化を目的として、薬用価値のある様々な薬用作物を栽培し、その機能を評価した後、優良な作物を高効率で生産する手法を開発する。	

糸島市九州大学連携研究助成金研究一覧

NO	年度	番号	研究課題名	研究者名	研究者所属	研究者職名	研究概要	事業化・実用化
31	26	2	糸島市における理想的な森林配置に関する研究	吉田 茂二郎	農学研究院	教授	糸島地域の地形、自然環境、並びに地域の経済的環境等を考慮したうえで、将来の理想的な森林の在り方を見据えて、効果的かつ多様な森林管理を実現するゾーニングを行い、現在進行している再造林等の森林管理を理想的かつ効果的に行う。	
32	26	3	糸島産アマナツの長期貯蔵技術の開発	内野 敏剛	農学研究院	教授	糸島産アマナツ果実の高品質長期貯蔵技術の開発を目的として、昨年からフィルム包装と赤外線・紫外線殺菌法を併用した保存技術について研究し、一定の効果を得たもののフィルムの選定が必要ながことが明確となったことから、引き続きフィルムの種類を増やして試験を行い、より効果的な保存技術の確立を目指す。	
33	26	4	PPPを活用した糸島市のまちなか居住推進に関する研究	谷口 博文	産学連携センター	教授	JR筑肥線沿線のまちなか居住推進に焦点を当てた調査分析を行い、人口増加目標の効果的な達成手段を研究する。そのうち公共交通関連施設や公営住宅等の一体的整備手法としてPPP (Public Private Partnership)の新たな活用方法を開発する。	
34	26	5	糸島市南東部における高密度重力探査を用いた基盤・断層構造の推定	西島 潤	工学研究院	助教	平成23、24年度に本助成を受けて実施した高密度重力探査による断層の未調査地域である前原南から大門にかけて調査する。断層の正確な位置や長さ、断層周辺の地下構造を明らかにすることにより今後の地震防災対策に役立てる。	
35	26	6	糸島市における風環境の把握と風力資源マップの作成	内田 孝紀	応用力学研究所	准教授	糸島市を対象にした詳細な数値風況シミュレーションにより風力資源マップを作成し、風力発電導入の有望地区を抽出して年間発電電力量などの経済的な試算を実施する。また強風の防災、減災といった風環境の改善法を提示する。	
36	27	1	体力・運動機能評価に基づく認知症・認知機能低下予防メニューの開発・作成とその実践	熊谷 秋三	基幹教育院	教授	福岡県在住の高齢者を対象にした調査結果を基に、認知症・認知機能低下予防運動メニューを開発する。また、開発したメニューを市内の高齢者に対して実践し、健康寿命延伸のための政策案を提言する。	
37	27	2	存続が懸念されるコミュニティの再生方策に関する研究	谷口 博文	産学連携センター	教授	高齢化率が高い地域の生活関連サービスの現況把握などによる課題の抽出と課題解決策の研究。	
38	27	3	糸島市ホームページのリニューアルに向けた課題と展望	田北 雅裕	人間環境学研究院	専任講師	現在の市ホームページデザインの課題などを調査し、より良いホームページのリニューアルの方向性を示す。	
39	27	4	糸島市におけるグリーンツーリズムの可能性に関する研究-糸島ブランドの生産地の体験学習を作りだす農園デザインのケーススタディー-	樋口 明彦	工学研究院	准教授	農地見学者の受け入れなどを実施している農園を対象に、糸島型グリーンツーリズム導入の可能性を検討し、農業の面から観光客などの誘致を図る。	
40	27	5	タブレット端末導入時の教師が抱える不安と必要としている支援-発達に偏りをもつ児童生徒への効果的な支援のために-	井手 沙織	人間環境学府	博士課程1年	情報通信技術 (ICT) 教育を担当する教員が抱える不安や要望を調査し、生徒の発達に応じた指導法を検討することで、発達に偏りを持つ児童に対するICT教育の効果的な方法を提供する。(市民要望研究)	

糸島市九州大学連携研究助成金研究一覧

NO	年度	番号	研究課題名	研究者名	研究者所属	研究者職名	研究概要	事業化・実用化
41	27	6	佐波集落と協働で行う加茂川流域再生に関する研究	巖島 怜	持続可能な社会のための決断科学センター	助教	加茂川流域再生のための調査・研究（①河口域の自然再生、②河床低下対策、③小水力発電導入、④砂防堰堤のスリット化）を佐波集落と協働で行う。（市民要望研究）	
42	27	7	地理情報システム（GIS）による照明灯管理システムの構築とその活用	三谷 泰浩	工学研究院	教授	GISを活用した新しい照明灯管理システムの構築を検討する。	○
43	28	1	ICTを活用した防災業務支援システムの導入実証実験	三谷 泰浩	工学研究院	教授	ICT（情報通信技術）と地理空間情報を活用した災害対策システムとして、本市独自の防災業務支援システムを構築する。また、実証実験を行い、その有用性を検証する。	○
44	28	2	「糸島ビーチ・スタイル」の形成一砂浜の環境の恵みの継承と参加型保全対策	清野 聡子	工学研究院	准教授	海岸の地形や背後地変遷、保全活動などを調査した上で、海岸管理マニュアルを策定して参加型海岸管理の仕組みづくりを行う。また、情報交換の場を設け、環境モニタリングや環境教育の試行・計画策定を行う。	
45	28	3	留学生主導による糸島市国際観光振興支援－留学生の地域貢献を通しての帰属意識の獲得とエンパワメント－	田村 美香	工学系国際交流センター	助教	九州大学の留学生が学生主導により、特設ブログやSNSでの情報発信、公共機関での英語表記化、英語版の本市ガイドブック制作、モデルツアーの企画・運営を行い、本市の国際観光地化への支援を行う。	○
46	28	4	糸島土壌の特徴と現状把握のためのプロックリーおよびキャベツ圃場の土壌診断とその活用	森 裕樹	農学研究院	助教	プロックリー及びキャベツ圃場を対象とした土壌診断を行い、本市の土壌の現状や特徴を把握し、土壌の健全化・負荷低減策の提案や根こぶ病リスク評価を行う。また、農家の土壌診断に対する意識調査を行う。	
47	28	5	科学実験教室による科学技術理解増進の効果	牧原 正記	水素材料先端科学研究センター	教授	市内の小・中学校、公民館、地域コミュニティで科学・実験教室を行い、科学技術への興味をどの程度維持・向上させることができるかを評価することで、児童・学生の教育レベルの向上への寄与度を検証する。	
48	28	6	糸島市指定ごみ袋のユニバーサルデザイン。そしてレジリエンスデザインへ。	尾方 義人	芸術工学研究院	准教授	本市指定ごみ袋の利用について現状調査や他都市との比較に基づき、ユニバーサルデザイン化を行う。また、再生プラスチックによるごみ袋の形成方法を検討する。	○
49	29	1	糸島里山里海イニシアティブ－生物多様性を活かす伝統を未来へ	清野 聡子	工学研究院	准教授	自然豊かな糸島市で里山を活かす知恵が失われており、糸島の地域文化を高める基礎調査を実施することで受け継がれていくような仕組みづくりを研究。公民館などの各地域のポイントで地域多世代間を巻き込んだ活動を行い生物多様性政策と連動できるような結果をまとめる。	研究期間中
50	29	2	糸島市指定天然記念物（樹木）の選定に係る基礎調査	玉泉 幸一郎	農学研究院	准教授	市の景観の骨格をなす緑豊かな樹木を守るための基礎的な調査を行う。糸島市内全域に生育する大きな樹木、あるいは歴史的価値のある樹木を網羅的に調査して現状を把握し、樹木の状態によっては市指定の天然記念物（樹木）指定への推薦を行う。	研究期間中

糸島市九州大学連携研究助成金研究一覧

NO	年度	番号	研究課題名	研究者名	研究者所属	研究者職名	研究概要	事業化・実用化
51	29	3	カモ類による農作物被害防止に関する総合的研究	安田 章人	基幹教育院	准教授	農作物被害をもたらすカモ類について、生態を把握し、様々な面から調査および実験を行い、効力、持続性、コスト、労力等などについて最も効果の高い防御策を研究する。	研究期間中
52	29	4	白糸地区での夏季の課題解決にともなう山側観光活性化可能性調査研究	村川 友美	工学研究院	協力研究員	糸島の山側の観光地として広く認知されている白糸地区では、夏に集客が多く深刻な渋滞が発生しているため、渋滞状況等を調査し、遊歩道整備による渋滞緩和や、観光客の分散・回転をはかる共同の可能性について調査を行う。	研究期間中
53	29	5	見向きされなくなった里山の活用についての仕組みづくり ～親山自治区における可也山保全の持続的な活動に向けて～	佐藤 宣子	農学研究院	教授	集落などで管理している共有林が多い糸島市では近年管理者の高齢化や木材価格の低迷により停滞し荒廃化が課題となっている。 今回の研究では可也山に焦点をあて、森林資源や路網の現況把握、保全や利用者の実態調査、環境教育などでの森林活用の仕組みの検討等を行い、問題を解決する策を研究する。	研究期間中